

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 4 月 4 日(2023.4.4)

【公開番号】特開 2022-74982(P2022-74982A)
【公開日】令和 4 年 5 月 18 日(2022.5.18)
【年通号数】公開公報(特許)2022-087
【出願番号】特願 2020-185475(P2020-185475)
【国際特許分類】
A 6 3 F 5/04(2006.01)
【F I】
A 6 3 F 5/04 6 1 1 B

10

【手続補正書】
【提出日】令和 5 年 3 月 27 日(2023.3.27)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

所定のカウンタと、
所定のレジスタと、を備え、
メイン処理と、タイマ割込み処理を実行可能とし、
電源がオンとなった場合、所定のカウンタに特定値を記憶した後に所定のカウンタの値を更新可能に構成され、
メイン処理は、割込みを禁止する命令から割込みを許可する命令まで割込みを禁止する割込み禁止状態を有し、当該割込み禁止状態として複数の割込み禁止状態を有し、
複数の割込み禁止状態の中で、設計上最も長い割込み禁止状態の割込み禁止期間の時間を S とし、所定のカウンタの値がタイムアウトする周期の時間を T としたとき、 $T > S$ となるように構成され、
所定のカウンタの値を更新しタイムアウトすると、所定のレジスタに割込み要求があったことを示す情報を記憶可能に構成され、
所定のレジスタに割込み要求があったことを示す情報を記憶している状況が割込み許可状態である場合は、タイマ割込み処理を実行可能に構成され、
所定のレジスタに割込み要求があったことを示す情報を記憶している状況が割込み禁止状態である場合は、所定のレジスタに記憶されている割込み要求があったことを示す情報をクリアせず、割込み許可状態となった後にタイマ割込み処理を実行可能に構成され、
割込み禁止状態である場合でも所定のカウンタの値を更新可能に構成され、
割込み禁止状態でタイムアウトを N 回（N は、2 以上の数値）した場合であっても、割込み許可状態となった後に割込み禁止状態でタイムアウトを N 回したことに基いてタイマ割込み処理が N 回連続して実行されないように構成され、
タイマ割込み処理を実行する際に、所定のレジスタに記憶されている割込み要求があったことを示す情報をクリア可能に構成される

30

40

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 5
【補正方法】変更

50

【補正の内容】

【0005】

所定のカウンタと、
所定のレジスタと、を備え、
メイン処理と、タイマ割込み処理を実行可能とし、
電源がオンとなった場合、所定のカウンタに特定値を記憶した後に所定のカウンタの値
を更新可能に構成され、
メイン処理は、割込みを禁止する命令から割込みを許可する命令まで割込みを禁止する
割込み禁止状態を有し、当該割込み禁止状態として複数の割込み禁止状態を有し、
複数の割込み禁止状態の中で、設計上最も長い割込み禁止状態の割込み禁止期間の時間
をSとし、所定のカウンタの値がタイムアウトする周期の時間をTとしたとき、 $T > S$ と
なるように構成され、
所定のカウンタの値を更新しタイムアウトすると、所定のレジスタに割込み要求があっ
たことを示す情報を記憶可能に構成され、
所定のレジスタに割込み要求があったことを示す情報を記憶している状況が割込み許可
状態である場合は、タイマ割込み処理を実行可能に構成され、
所定のレジスタに割込み要求があったことを示す情報を記憶している状況が割込み禁止
状態である場合は、所定のレジスタに記憶されている割込み要求があったことを示す情報
をクリアせず、割込み許可状態となった後にタイマ割込み処理を実行可能に構成され、
割込み禁止状態である場合でも所定のカウンタの値を更新可能に構成され、
割込み禁止状態でタイムアウトをN回（Nは、2以上の数値）した場合であっても、割
込み許可状態となった後に割込み禁止状態でタイムアウトをN回したことに基づいてタイ
マ割込み処理がN回連続して実行されないように構成され、
タイマ割込み処理を実行する際に、所定のレジスタに記憶されている割込み要求があっ
たことを示す情報をクリア可能に構成される
ことを特徴とする遊技機。

10

20

30

40

50